
別添 2 大気汚染

2-1 事後調査の内容	11
2-1-1 事後調査の調査地点	11
2-1-2 事後調査時点	13
2-1-3 事後調査の方法	13
2-2 事後調査の結果	14
2-2-1 廃棄物処理施設の稼働に伴う影響	14
① 二酸化硫黄	14
② 窒素酸化物（二酸化窒素及び一酸化窒素）	14
③ 浮遊粒子状物質	16
④ 塩化水素	17
⑤ ダイオキシン類	17
⑥ 風向・風速	17
2-2-2 関係車両の走行に伴う影響	19
① 窒素酸化物（二酸化窒素及び一酸化窒素）	19
② 浮遊粒子状物質	19
③ 風向・風速	20
2-2-3 環境保全対策の実施状況	21
2-3 調査等の結果との検証結果	22
2-3-1 検証方法	22
2-3-2 検証結果	22
① 廃棄物処理施設の稼働に伴う影響	22
② 関係車両の走行による影響	23

別添 2 大気汚染

2-1 事後調査の内容

供用開始後の廃棄物処理施設の稼働に伴う煙突排ガスによる大気汚染物質の影響（二酸化硫黄、窒素酸化物（二酸化窒素及び一酸化窒素）、浮遊粒子状物質、ダイオキシン類、塩化水素）及び調査時点の気象項目として、風向・風速を対象とした。

関係車両の走行に伴う大気汚染物質の影響（窒素酸化物（二酸化窒素及び一酸化窒素）、浮遊粒子状物質）及び調査時点の気象項目として、風向・風速を対象とした。

また、環境保全対策の実施状況を取りまとめた。

2-1-1 事後調査の調査地点

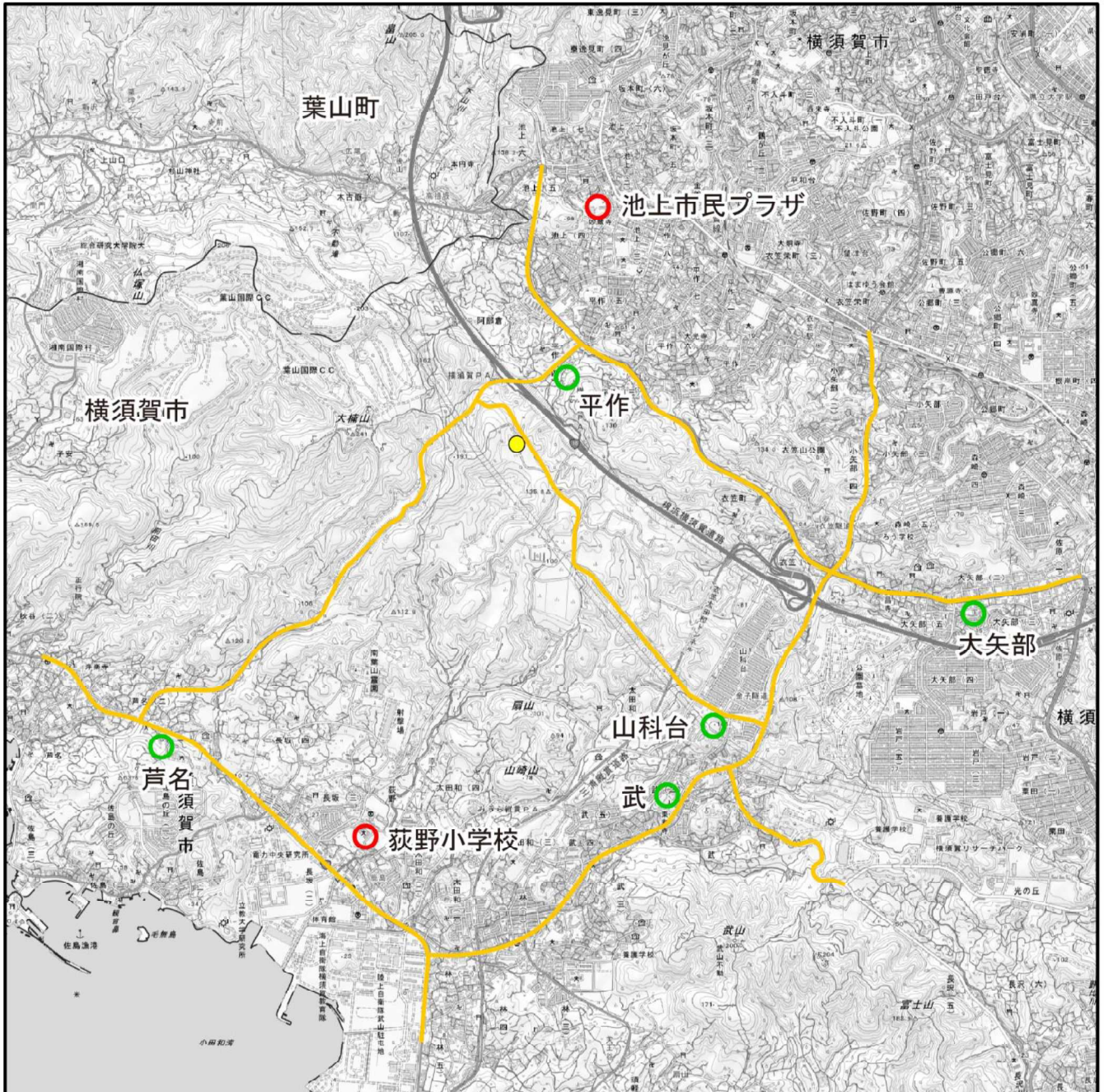
供用開始後の廃棄物処理施設の稼働に伴う煙突排ガスによる大気汚染物質の影響については、最も影響が大きくなると予測された最大着地濃度出現地点付近（荻野小学校）、及び最大着地濃度出現地第2位の地点（池上市民プラザ）において事後調査を実施した。

関係車両の走行に伴う大気汚染物質の影響については、関係車両の通過する沿道の道路境界5地点で事後調査を実施した。

事後調査地点については、表2-1及び図2-1に示す。

表 2-1 調査地点

調査項目	調査地点	備考
廃棄物処理施設の稼働に伴う大気汚染物質	荻野小学校	最大着地濃度出現地
	池上市民プラザ	最大着地濃度出現地第2位
関係車両の走行による大気汚染物質	芦名	国道134号
	武	県道横須賀三崎線
	山科台	市道7027号線
	平作	市道坂本芦名線
	大矢部	県道久里浜田浦線



凡 例

- 廃棄物処理施設
- 廃棄物処理施設の稼働に伴う大気汚染物質調査地点
- 関係車両の走行による大気汚染物質調査地点
- 行政界
- 関連車両主要走行ルート

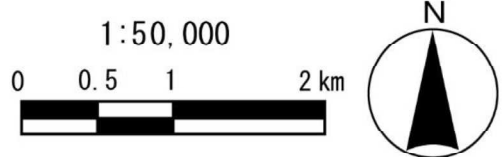


図 2-1 大気質調査地点

2-1-2 事後調査時点

供用開始後の廃棄物処理施設の稼働に伴う煙突排ガスによる大気汚染物質の影響については、廃棄物処理施設の稼働が定常の状態となる時期の1年間のうち、4季各期1週間とした。

関係車両の走行に伴う大気汚染物質の影響については、廃棄物処理施設の稼働が定常の状態となる第2段階（既設道路の改修完了後）のうち1季1週間とした。

事後調査時点については、表2-2に示すとおりである。

表 2-2 調査時点

調査項目	季節	調査時点
廃棄物処理施設の稼働に伴う大気汚染物質	4季	6月：令和 2年 6月10日(水)0時～ 6月16日(火)24時 9月：令和 2年 9月11日(金)0時～ 9月17日(木)24時 11月：令和 2年11月24日(火)0時～11月30日(月)24時 2月：令和 3年 2月 3日(水)0時～ 2月 9日(火)24時
関係車両の走行による大気汚染物質	1季	令和 2年 9月11日(金)0時～ 9月17日(木)24時

2-1-3 事後調査の方法

二酸化硫黄、浮遊粒子状物質は「大気汚染に係る環境基準について」（昭和48年、環境庁告示第25号）に定める方法に準拠し、窒素酸化物（二酸化窒素、一酸化窒素）は「二酸化窒素に係る環境基準について」（昭和53年、環境庁告示第38号）に定める方法に準拠した。塩化水素は液捕集－イオンクロマトグラフ法（JIS K 0107）に定める方法を参考にし、ダイオキシン類はハイボリウムエアサンプラー捕集－GC－MS法「ダイオキシン類による大気汚染、水質汚濁及び土壌汚染に係る環境基準について」（平成11年、環境庁告示第68号）に定める方法に準拠した。

風向風速については、地上気象観測指針（平成14年、気象庁）に定める方法に準拠した。

2-2 事後調査の結果

2-2-1 廃棄物処理施設の稼働に伴う影響

① 二酸化硫黄

二酸化硫黄の調査結果は、表2-3に示すとおりである。

4季平均値は荻野小学校で0.001ppm、池上市民プラザで0.001ppmであり、日平均値、1時間値ともに4季を通して環境基準を下回る結果となっている。

表 2-3-1 二酸化硫黄調査結果（荻野小学校）

実施時期	期間平均値	日平均の最高値	1時間の最高値	日平均値が0.04ppmを超えた日数とその割合		1時間値の最高値が0.1ppmを超えた時間数とその割合		環境基準
	ppm	ppm	ppm	日	%	時間	%	
6月	0.000	0.000	0.002	0	0.0	0	0.0	(日平均値) 0.04ppm以下 (1時間値) 0.1ppm以下
9月	0.001	0.002	0.004	0	0.0	0	0.0	
11月	0.001	0.002	0.005	0	0.0	0	0.0	
2月	0.001	0.002	0.005	0	0.0	0	0.0	
4季	0.001	0.002	0.005	0	0.0	0	0.0	

注) 1. 環境基準：「大気汚染に係る環境基準について」（昭和48年、環境庁告示25号）

表 2-3-2 二酸化硫黄調査結果（池上市民プラザ）

実施時期	期間平均値	日平均の最高値	1時間の最高値	日平均値が0.04ppmを超えた日数とその割合		1時間値の最高値が0.1ppmを超えた時間数とその割合		環境基準
	ppm	ppm	ppm	日	%	時間	%	
6月	0.000	0.000	0.002	0	0.0	0	0.0	(日平均値) 0.04ppm以下 (1時間値) 0.1ppm以下
9月	0.001	0.002	0.004	0	0.0	0	0.0	
11月	0.002	0.003	0.006	0	0.0	0	0.0	
2月	0.001	0.002	0.004	0	0.0	0	0.0	
4季	0.001	0.003	0.006	0	0.0	0	0.0	

注) 1. 環境基準：「大気汚染に係る環境基準について」（昭和48年、環境庁告示25号）

② 窒素酸化物（二酸化窒素及び一酸化窒素）

二酸化窒素の調査結果は表2-4に示すとおりである。

4季平均値は荻野小学校で0.009ppm、池上市民プラザで0.011ppmであり、日平均値、1時間値ともに4季を通して環境基準、指針値を下回る結果となっている。

表 2-4-1 二酸化窒素調査結果（荻野小学校）

実施時期	期間 平均値	日平均値の 最高値	1時間の 最高値	日平均値が 0.04ppm以上0.06ppm 以下 の日数とその割合		日平均値が 0.06ppmを 超えた日数と その割合		1時間値 が0.2ppm 超えた 時間数	環境基準 (日平均値)
	ppm	ppm	ppm	日	%	日	%	時間	指針値 (1時間値)
6月	0.006	0.010	0.023	0	0.0	0	0.0	0	(日平均値) 0.04~0.06ppmの ゾーン内または それ以下 (1時間値) 0.1~0.2ppm以下
9月	0.007	0.011	0.018	0	0.0	0	0.0	0	
11月	0.012	0.020	0.053	0	0.0	0	0.0	0	
2月	0.012	0.022	0.050	0	0.0	0	0.0	0	
4季	0.009	0.022	0.053	0	0.0	0	0.0	0	

注) 1. 環境基準：「二酸化窒素に係る環境基準について」(昭和53年、環境庁告示38号)

指針値：「二酸化窒素の人の健康に係る判定条件等について」(昭和53年、中央公害対策審議会)

表 2-4-2 二酸化窒素調査結果（池上市民プラザ）

実施時期	期間 平均値	日平均値の 最高値	1時間の 最高値	日平均値が 0.04ppm以上0.06ppm 以下 の日数とその割合		日平均値が 0.06ppmを 超えた日数と その割合		1時間値 が0.2ppm 超えた 時間数	環境基準 (日平均値)
	ppm	ppm	ppm	日	%	日	%	時間	指針値 (1時間値)
6月	0.007	0.010	0.021	0	0.0	0	0.0	0	(日平均値) 0.04~0.06ppmの ゾーン内または それ以下 (1時間値) 0.1~0.2ppm以下
9月	0.009	0.013	0.022	0	0.0	0	0.0	0	
11月	0.014	0.022	0.051	0	0.0	0	0.0	0	
2月	0.016	0.030	0.050	0	0.0	0	0.0	0	
4季	0.011	0.030	0.051	0	0.0	0	0.0	0	

注) 1. 環境基準：「二酸化窒素に係る環境基準について」(昭和53年、環境庁告示38号)

指針値：「二酸化窒素の人の健康に係る判定条件等について」(昭和53年、中央公害対策審議会)

窒素酸化物の調査結果は表2-5に示すとおりである。

4季平均値は一酸化窒素が荻野小学校で0.002ppm、池上市民プラザで0.002ppm、窒素酸化物が荻野小学校で0.011ppm、池上市民プラザで0.014ppmとなっている。

表 2-5-1 窒素酸化物調査結果（荻野小学校）

実施時期	一酸化窒素			窒素酸化物			NO ₂ NO+NO ₂
	期間平均値	日平均の 最高値	1時間の 最高値	期間平均値	日平均の 最高値	1時間の 最高値	
	ppm	ppm	ppm	ppm	ppm	ppm	%
6月	0.001	0.002	0.005	0.007	0.012	0.025	83.1
9月	0.002	0.003	0.017	0.009	0.013	0.025	82.0
11月	0.003	0.008	0.059	0.015	0.026	0.075	83.1
2月	0.003	0.007	0.047	0.014	0.029	0.088	81.5
4季	0.002	0.008	0.059	0.011	0.029	0.088	82.4

表 2-5-2 窒素酸化物調査結果（池上市民プラザ）

実施時期	一酸化窒素			窒素酸化物			NO ₂ NO+NO ₂
	期間平均値	日平均の最高値	1時間の最高値	期間平均値	日平均の最高値	1時間の最高値	
	ppm	ppm	ppm	ppm	ppm	ppm	%
6月	0.001	0.001	0.004	0.008	0.012	0.024	86.9
9月	0.002	0.003	0.014	0.011	0.014	0.031	81.7
11月	0.003	0.008	0.041	0.017	0.029	0.076	84.4
2月	0.003	0.012	0.057	0.019	0.042	0.105	81.9
4季	0.002	0.012	0.057	0.014	0.042	0.105	83.3

③ 浮遊粒子状物質

浮遊粒子状物質の調査結果は、表2-6に示すとおりである。

4季平均値は荻野小学校で0.016mg/m³、池上市民プラザで0.016mg/m³であり、日平均値、1時間値ともに4季を通して環境基準を下回る結果となっている。

表 2-6-1 浮遊粒子状物質調査結果（荻野小学校）

実施時期	期間平均値	日平均の最高値	1時間の最高値	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数とその割合		1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数とその割合		環境基準
	mg/m ³	mg/m ³	mg/m ³	日	%	時間	%	
6月	0.023	0.028	0.052	0	0.0	0	0.0	(日平均値) 0.10mg/m ³ (1時間値) 0.20mg/m ³ 以下
9月	0.017	0.022	0.031	0	0.0	0	0.0	
11月	0.013	0.019	0.039	0	0.0	0	0.0	
2月	0.011	0.018	0.029	0	0.0	0	0.0	
4季	0.016	0.028	0.052	0	0.0	0	0.0	

注) 1. 環境基準：「大気汚染に係る環境基準について」（昭和48年、環境庁告示25号）

表 2-6-2 浮遊粒子状物質調査結果（池上市民プラザ）

実施時期	期間平均値	日平均の最高値	1時間の最高値	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数とその割合		1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数とその割合		環境基準
	mg/m ³	mg/m ³	mg/m ³	日	%	時間	%	
6月	0.021	0.026	0.044	0	0.0	0	0.0	(日平均値) 0.10mg/m ³ (1時間値) 0.20mg/m ³ 以下
9月	0.016	0.023	0.038	0	0.0	0	0.0	
11月	0.015	0.022	0.044	0	0.0	0	0.0	
2月	0.010	0.018	0.028	0	0.0	0	0.0	
4季	0.016	0.026	0.044	0	0.0	0	0.0	

注) 1. 環境基準：「大気汚染に係る環境基準について」（昭和48年、環境庁告示25号）

④ 塩化水素

塩化水素の調査結果は、表2-7に示すとおりである。

4季平均値は荻野小学校で0.001ppm、池上市民プラザで0.001ppmであり、日平均値は4季を通して目標環境濃度を下回る結果となっている。

表 2-7 塩化水素調査結果

実施時期	荻野小学校			池上市民プラザ			目標環境濃度
	期間平均値	日平均値の最高値	日平均値が0.02ppmを超えた日数	期間平均値	日平均値の最高値	日平均値が0.02ppmを超えた日数	
	ppm	ppm	日	ppm	ppm	日	
6月	0.001	0.002	0	0.001	0.001	0	0.02ppm以下
9月	0.001未満	0.001未満	0	0.001	0.001	0	
11月	0.001未満	0.001未満	0	0.001未満	0.001未満	0	
2月	0.001	0.001	0	0.001未満	0.001未満	0	
4季	0.001	0.002	0	0.001	0.001	0	

- 注) 1. 目標環境濃度：「大気汚染防止法に基づく窒素酸化物の排出基準の改定等について」（昭和52年、環境庁大気保全局長通達 環大規第136号）
 2. 期間平均値は、定量下限値未満の場合は定量下限の値とし平均値を求めた。全て定量下限値未満の場合は、定量下限値未満とした。

⑤ ダイオキシン類

ダイオキシン類の調査結果は、表2-8に示すとおりである。

毒性等量の4季平均値は荻野小学校で0.0082pg-TEQ/m³、池上市民プラザで0.0090pg-TEQ/m³であり、環境基準を下回る結果となっている。

表 2-8 ダイオキシン類調査結果

実施時期	荻野小学校		池上市民プラザ		環境基準 (毒性等量)
	実測濃度	毒性等量	実測濃度	毒性等量	
	pg/m ³	pg-TEQ/m ³	pg/m ³	pg-TEQ/m ³	
6月	1.7	0.0046	1.9	0.0044	(年平均値) 0.6pg- TEQ/m ³ 以下
9月	2.6	0.0061	3.1	0.010	
11月	1.5	0.012	1.7	0.013	
2月	1.2	0.010	1.1	0.0086	
4季	1.8	0.0082	2.0	0.0090	

- 注) 1. 環境基準：「ダイオキシン類による大気の汚染、水質の汚濁（水底の底質の汚染を含む。）及び土壌の汚染に係る環境基準」（平成14年、環境庁告示46号）

⑥ 風向・風速

風向風速の調査結果は、表2-9に示すとおりである。

風速の4季平均値は、荻野小学校で1.9m/s、池上市民プラザで0.9m/sとなっている。

風向は荻野小学校では、6月は南西、9月、11月、2月、4季は東北東が最多となっている。

池上市民プラザでは、6月は南、9月は北北西、11月は北、2月は北北西、4季は北が最多となっている。

表 2-9-1 風向・風速調査結果（荻野小学校）

調査時期	6月		9月		11月		2月		4季	
	出現率	平均風速	出現率	平均風速	出現率	平均風速	出現率	平均風速	出現率	平均風速
項目	%	m/s	%	m/s	%	m/s	%	m/s	%	m/s
NNE	3.0	1.0	6.5	1.2	15.5	1.9	8.9	1.4	8.5	1.5
NE	1.8	1.1	5.4	1.2	19.0	1.4	13.7	1.2	10.0	1.3
ENE	5.4	1.1	37.5	1.9	43.5	1.9	31.0	2.0	29.3	1.9
E	0.0	-	4.2	1.4	1.8	1.3	4.8	1.3	2.7	1.3
ESE	0.6	1.0	0.6	1.1	0.6	1.6	1.2	0.8	0.7	1.0
SE	0.0	-	0.6	1.0	0.0	-	0.0	-	0.1	1.0
SSE	0.6	1.1	3.6	1.3	0.0	-	2.4	1.2	1.6	1.2
S	1.8	0.8	3.0	1.4	0.0	-	0.6	1.4	1.3	1.2
SSW	8.3	2.6	5.4	1.6	0.0	-	3.0	1.7	4.2	2.1
SW	61.3	2.7	11.3	1.8	0.0	-	4.2	1.6	19.2	2.5
WSW	3.0	0.7	3.0	1.7	2.4	6.7	14.3	4.3	5.7	3.7
W	0.6	0.6	0.0	-	0.0	-	1.8	1.2	0.6	1.1
WNW	0.6	0.6	0.0	-	0.0	-	0.0	-	0.1	0.6
NW	0.0	-	0.6	0.6	0.6	1.3	1.2	0.8	0.6	0.9
NNW	1.2	1.1	0.6	0.7	0.0	-	0.0	-	0.4	1.0
N	4.2	1.8	6.0	2.5	7.7	3.0	5.4	2.2	5.8	2.5
Calm	7.7	0.3	11.9	0.3	8.9	0.3	7.7	0.2	9.1	0.3
合計	100.0	2.2	100.0	1.5	100.0	1.9	100.0	1.9	100.0	1.9

注) 1.Calm (静穏) は0.4m/s以下

表 2-9-2 風向・風速調査結果（池上市民プラザ）

調査時期	6月		9月		11月		2月		4季	
	出現率	平均風速	出現率	平均風速	出現率	平均風速	出現率	平均風速	出現率	平均風速
項目	%	m/s	%	m/s	%	m/s	%	m/s	%	m/s
NNE	0.0	-	2.4	0.6	18.5	1.0	1.8	0.8	5.7	0.9
NE	0.0	-	0.0	-	2.4	0.6	1.8	0.9	1.0	0.7
ENE	0.0	-	0.0	-	4.2	0.5	1.2	0.7	1.3	0.6
E	0.0	-	0.0	-	2.4	0.6	0.0	-	0.6	0.6
ESE	0.6	0.5	0.0	-	2.4	0.6	1.8	0.8	1.2	0.7
SE	0.6	0.6	4.8	1.0	0.0	-	2.4	1.4	1.9	1.1
SSE	4.2	1.3	7.7	1.0	0.0	-	1.8	1.6	3.4	1.2
S	28.6	1.9	4.8	1.3	0.0	-	5.4	1.7	9.7	1.8
SSW	26.2	1.8	7.1	0.9	0.6	1.1	1.2	1.3	8.8	1.6
SW	7.7	1.8	2.4	0.9	0.0	-	2.4	1.8	3.1	1.6
WSW	1.2	0.6	0.0	-	0.6	2.2	4.2	1.7	1.5	1.6
W	1.2	1.4	0.6	0.5	0.0	-	1.8	1.3	0.9	1.2
WNW	0.6	0.5	2.4	0.7	0.0	-	6.0	0.8	2.2	0.7
NW	1.2	0.6	0.6	0.7	1.8	0.6	2.4	0.7	1.5	0.7
NNW	6.0	0.9	13.7	0.8	5.4	0.8	20.8	1.1	11.5	0.9
N	4.2	1.3	4.2	0.9	29.2	1.2	13.1	0.8	12.6	1.1
Calm	17.9	0.3	49.4	0.3	32.7	0.3	32.1	0.3	33.0	0.3
合計	100.0	1.4	100.0	0.6	100.0	0.7	100.0	0.8	100.0	0.9

注) 1.Calm (静穏) は0.4m/s以下

2-2-2 関係車両の走行に伴う影響

① 窒素酸化物（二酸化窒素及び一酸化窒素）

二酸化窒素の調査結果は表2-10に示すとおりである。

期間平均値は0.009ppm～0.011ppmであり、日平均値、1時間値ともに環境基準、指針値を下回る結果となっている。

表 2-10 大気汚染調査結果（二酸化窒素）

調査地点	期間平均値 ppm	日平均値の 最高値 ppm	1時間の 最高値 ppm	日平均値が 0.04ppm以上 0.06ppm以下 の日数とその割合		日平均値が 0.06ppmを 超えた日数と その割合		1時間値 が0.2ppm を超えた 時間数 時間	環境基準 (日平均値) 指針値 (1時間値)
				日	%	日	%		
芦名	0.010	0.015	0.039	0	0.0	0	0.0	0	(日平均値) 0.04～0.06ppmの ゾーン内または それ以下 (1時間値) 0.1～0.2ppm以下
武	0.009	0.014	0.020	0	0.0	0	0.0	0	
山科台	0.009	0.013	0.019	0	0.0	0	0.0	0	
平作	0.009	0.012	0.021	0	0.0	0	0.0	0	
大矢部	0.011	0.017	0.026	0	0.0	0	0.0	0	

注) 1. 環境基準：「二酸化窒素に係る環境基準について」(昭和53年、環境庁告示38号)

指針値：「二酸化窒素の人の健康に係る判定条件等について」(昭和53年、中央公害対策審議会)

窒素酸化物の調査結果は表2-11に示すとおりである。

期間平均値は一酸化窒素が0.003ppm～0.009ppm、窒素酸化物が0.011ppm～0.019ppmである。

表 2-11 大気汚染調査結果（一酸化窒素、窒素酸化物）

調査地点	一酸化窒素			窒素酸化物			NO ₂ NO+NO ₂
	期間平均値	日平均の 最高値	1時間の 最高値	期間平均値	日平均の 最高値	1時間の 最高値	
	ppm	ppm	ppm	ppm	ppm	ppm	%
芦名	0.009	0.013	0.052	0.019	0.023	0.070	54.4
武	0.004	0.008	0.029	0.013	0.018	0.040	70.3
山科台	0.003	0.004	0.033	0.011	0.016	0.049	75.0
平作	0.004	0.008	0.032	0.012	0.015	0.041	69.1
大矢部	0.006	0.008	0.052	0.017	0.024	0.067	64.5

② 浮遊粒子状物質

浮遊粒子状物質の調査結果は、表2-12に示すとおりである。

期間平均値は0.016mg/m³～0.019mg/m³であり、日平均値、1時間値ともに環境基準を下回る結果となっている。

表 2-12 大気汚染調査結果（浮遊粒子状物質）

調査地点	期間 平均値	日平均値の 最高値	1時間の 最高値	日平均値が 0.10mg/m ³ を超えた 日数とその割合		1時間値が 0.20mg/m ³ を超えた 時間数とその割合		環境基準
	mg/m ³	mg/m ³	mg/m ³	日	%	時間	%	
芦名	0.016	0.022	0.030	0	0.0	0	0.0	(日平均値) 0.10mg/m ³ (1時間値) 0.20mg/m ³ 以下
武	0.017	0.023	0.037	0	0.0	0	0.0	
山科台	0.018	0.025	0.041	0	0.0	0	0.0	
平作	0.018	0.025	0.038	0	0.0	0	0.0	
大矢部	0.019	0.027	0.046	0	0.0	0	0.0	

注) 1. 環境基準：「大気汚染に係る環境基準について」（昭和 48 年、環境庁告示 25 号）

③ 風向・風速

風向風速の調査結果は、表2-13に示すとおりである。

平均風速は、0.7m/s～1.3m/sであり、武の風速が強い傾向となっている。

最多風向は、芦名は東、武は北北東、山科台は南東、平作は北東、大矢部では東北東となっている。

表 2-13 気象調査結果（風向・風速）

調査地点	芦名		武		山科台		平作		大矢部	
	出現率	平均風速	出現率	平均風速	出現率	平均風速	出現率	平均風速	出現率	平均風速
単位	%	m/s	%	m/s	%	m/s	%	m/s	%	m/s
NNE	1.8	1.0	37.5	1.9	0.6	0.5	15.5	1.5	8.9	0.9
NE	5.4	0.8	13.1	1.5	0.6	0.7	20.8	1.9	15.5	0.9
ENE	13.1	1.0	1.8	0.5	0.6	0.6	6.5	0.9	25.0	1.0
E	20.2	1.0	0.0	-	0.6	0.5	0.6	0.5	1.2	0.7
ESE	3.6	0.7	0.0	-	1.2	1.0	0.0	-	1.2	0.5
SE	0.6	0.5	1.2	0.5	16.1	1.1	0.0	-	0.6	0.8
SSE	1.8	0.7	2.4	0.6	7.7	0.8	0.0	-	0.0	-
S	1.8	0.5	0.6	0.8	2.4	0.7	0.0	-	0.0	-
SSW	1.2	0.6	16.7	1.7	0.0	-	4.2	0.7	12.5	1.2
SW	0.6	1.0	5.4	1.1	0.0	-	10.7	1.1	7.7	0.9
WSW	0.0	-	0.6	0.5	1.8	0.6	7.1	1.4	0.0	-
W	4.2	0.7	0.0	-	0.6	0.8	1.2	0.6	0.6	0.5
WNW	3.6	0.9	0.6	0.5	0.6	0.9	0.0	-	0.0	-
NW	3.6	1.0	0.0	-	14.3	1.1	0.0	-	0.0	-
NNW	4.2	1.0	0.0	-	11.3	0.8	0.0	-	0.0	-
N	2.4	0.8	2.4	0.9	3.6	0.7	1.8	0.6	0.0	-
C	32.1	0.2	17.9	0.3	38.1	0.2	31.5	0.2	26.8	0.2
合計	100.0	0.7	100.0	1.3	100.0	0.7	100.0	1.0	100.0	0.8

注) 1. Calm（静穏）は 0.4m/s 以下

2-2-3 環境保全対策の実施状況

廃棄物処理施設の稼働に関して実施した環境保全対策及び実施状況は、表2-14に、関係車両の走行に関して実施した環境保全対策及び実施状況は、表2-15に示すとおりである。

表 2-14 環境保全対策及び実施状況（廃棄物処理施設の稼働）

予測評価書の記載内容	環境保全対策の実施状況	写真
ごみ質の均一化を図り適正負荷による安定した燃焼を維持することで汚染物質の低減に努める。	ごみピット内のごみをクレーンにより攪拌させることにより、ごみ質の均一化を図り、定格処理量の90～100%負荷による安定した燃焼を維持することで大気汚染物質の低減に努めている。	①
排ガス処理設備として、集じん装置（バグフィルタ）と活性炭吹込装置、乾式＋湿式併用酸性ガス除去装置、最後段に触媒脱硝装置を設ける。	排ガス処理設備として、集じん装置（バグフィルタ）と活性炭吹込装置、乾式＋湿式併用酸性ガス除去装置、最後段に触媒脱硝装置を設けている。	②



表 2-15 環境保全対策及び実施状況（関係車両の走行）

予測評価書の記載内容	環境保全対策の実施状況	写真
可燃ごみ収集工程の調整により、可燃ごみ収集車両が短時間に集中しないよう計画的な時間配分に努める。	可燃ごみ収集工程を調整し、可燃ごみ収集車両が短時間に集中しないよう計画的な時間配分に努めている。	-
定常稼働時及び定期点検時の関係者の通勤においては、乗り合い等により通勤車両台数を低減する。	定期点検時の関係者の通勤車両については、乗り合い等により通勤車両の台数を低減している。	-
急発進・急加速の禁止及び車両停止時のアイドリングストップにより、汚染物質排出の低減に努める。	可燃ごみ収集車両・通勤車両の急加速・急発進の禁止、場内徐行を徹底している。 ごみ収集車は全車アイドリングストップ機能を有したものを使用しているため、車両停止時は、アイドリングストップを実施している。 これらの対策の実施により、汚染物質排出の低減に努めている。	-
可燃ごみ収集車両はCNG車等の低排出ガス車への転換を促進し、汚染物質排出の低減に努める。	可燃ごみ収集車両は低排出ガス車への転換を促進し、汚染物質排出の低減に努めている。	-

2-3 調査等の結果との検証結果

2-3-1 検証方法

事業の影響については、「予測評価書」の予測結果及び評価の指標と比較を行い、二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、塩化水素及びダイオキシン類の評価目標である「実施区域周辺の生活環境に著しい影響を及ぼさないこと」が達成されているかを検証する。

2-3-2 検証結果

「予測評価書」における廃棄物処理施設の稼働に伴う影響として二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、塩化水素及びダイオキシン類についての事後調査結果及び予測結果を表2-16に、関係車両の走行による影響として二酸化窒素及び浮遊粒子状物質についての事後調査結果及び予測結果を表2-17に評価の指標とあわせて示す。

①廃棄物処理施設の稼働に伴う影響

二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質の期間平均値（予測結果においては年平均値）、日平均値の最高値（予測結果においては日平均値の年間98%値または2%除外値）については、いずれも予測結果と同値もしくは予測結果を下回った。

二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質の1時間値の最高値については、いずれも予測結果を下回った。

塩化水素の日平均値の最高値（予測結果においては1時間値の最高値）は予測結果を下回った。

ダイオキシン類の年平均値は予測結果を下回った。

また、いずれの項目も評価の指標を満足していた。

以上の結果から、評価書における「実施区域周辺の生活環境に著しい影響を及ぼさない」という評価目標は達成されたと考えられる。

表 2-16 大気汚染検証結果（廃棄物処理施設の稼働）

項目		事後調査結果		予測結果		評価の指標
		荻野小学校	池上市民プラザ	荻野小学校	池上市民プラザ	
二酸化硫黄 [ppm]	事後：期間平均値 予測：年平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	-
	事後：日平均値の最高値 予測：日平均値の2%除外値	0.002	0.003	0.003	0.003	0.04以下
	1時間値の最高値	0.005	0.006	0.010		0.1以下
二酸化窒素 [ppm]	事後：期間平均値 予測：年平均値	0.009	0.011	0.012	0.015	-
	事後：日平均値の最高値 予測：日平均値の年間98%値	0.022	0.030	0.027	0.032	0.04～0.06以下
	1時間値の最高値	0.053	0.051	0.054		0.1～0.2以下
浮遊粒子状物質 [mg/m ³]	事後：期間平均値 予測：年平均値	0.016	0.016	0.019	0.020	-
	事後：日平均値の最高値 予測：日平均値の2%除外値	0.028	0.026	0.046	0.048	0.10以下
	1時間値の最高値	0.052	0.044	0.106		0.20以下
塩化水素 [ppm]	期間平均値	0.001	0.001	-	-	-
	日平均値の最高値	0.002	0.001	-	-	-
	1時間値の最高値	-	-	0.003		0.02以下
ダイオキシン類 [pg-TEQ/m ³]	期間平均値	0.0082	0.0090	0.027	0.019	0.6以下

注) 1. 予測結果の1時間値の最高値については、予測地点は最大着地濃度地点の結果である。また、最大となる予測条件での予測結果を記載した

②関係車両の走行による影響

二酸化窒素、浮遊粒子状物質の期間平均値（予測結果においては年平均値）、日平均値の最高値（予測結果においては日平均値の年間98%値または2%除外値）については、いずれも予測結果を下回った。また評価の指標である環境基準についてもいずれも満足している。

以上の結果から、評価書における「実施区域周辺の生活環境に著しい影響を及ぼさない」という評価目標は達成されたと考えられる。

表 2-17 大気汚染検証結果（関係車両の走行）

項目		芦名	武	山科台	平作	大矢部	評価の指標	
二酸化窒素 [ppm]	事後：期間平均値 予測：年平均値	事後調査結果	0.010	0.009	0.009	0.009	0.011	-
		予測結果	0.019	0.019	0.015	0.016	0.018	
	事後：日平均値の最高値 予測：日平均値の年間98%値	事後調査結果	0.015	0.014	0.013	0.012	0.012	0.04～ 0.06以下
		予測結果	0.036	0.036	0.030	0.033	0.034	
浮遊粒子状物質 [mg/m ³]	事後：期間平均値 予測：年平均値	事後調査結果	0.016	0.017	0.018	0.018	0.019	-
		予測結果	0.022	0.022	0.021	0.021	0.022	
	事後：日平均値の最高値 予測：日平均値の2%除外値	事後調査結果	0.022	0.023	0.025	0.025	0.027	0.10以下
		予測結果	0.052	0.052	0.051	0.051	0.052	

(空白)